



11

環境教育・学習の推進

目標

持続可能なライフスタイルに切り替え、地球環境の保全・創造のための活動を実践していく市民等を増やすことを目指します。

指標	現状値 (平成17年度)	目標値
環境学習施設数(施設)	32	
環境学習講座数(件/年)	72	
環境学習講座参加数(延べ人/年)	7,083	
こどもエコクラブ*登録数 (団体/年)	20	

こどもエコクラブ

地域の身近な環境活動に自主的に取り組んでいる、幼児から高校生までの環境活動クラブで、環境省が支援している。

共通理念

各主体が自主的に環境保全活動を実践するためには、日常生活や事業活動と環境とのかかわりに気づき、自分の役割や責任を理解し、行動・参加するための力を身に付けることが重要です。そのために、環境に関する情報を広く提供するとともに、多様な場・機会での環境教育・学習を推進します。





具体的取組

11-1 環境情報の収集・活用

市民による身近な環境調査 **重点**

- ・市民参加による市民環境調査を充実します。



上：湧水調査
左：川越の樹めぐり

環境情報の提供

- ・大気・水質・騒音等の環境に関する測定データや情報をホームページ、環境に関する冊子、広報等を通じて提供していきます。

11-2 環境教育・学習の推進

11-2-1 環境学習のための場・機会の充実

環境学習施設の整備 **重点**

- ・環境について学習し、理解し、活動する市民の交流の拠点となる環境学習施設の設置について検討します。

施設見学会等の開催

- ・ごみ処理施設の見学会等を開催し、ごみ問題に関する啓発・学習機会を充実させます。

環境学習のためのイベントの開催

- ・講演会、シンポジウム等環境学習を推進するためのイベントを開催します。



環境ふれあい教室等の開催

- ・環境ふれあい教室や星空観察などを開催します。
- ・自然観察会やネイチャーゲーム*などを実施し、自然環境に関する学習機会を充実させます。

ネイチャーゲーム
自然を相手に遊ぶことを通して、自然と共存することの大切さを学ぼうとする方法のひとつ。



星空観察の集い

11-2-2 学校等での環境教育の推進

環境教育の実践

- ・幼児期から感性を育み、自然との共生意識を高めるよう、身近な環境から地球環境問題を含む環境教育の実践を促進します。
- ・小中学校については、副読本の作成を進め、環境全般に関するモデル校の設置を検討します。



エコチャレンジスクール認定事業

- ・学校版環境 ISO であるエコチャレンジスクール*認定事業を充実させ、環境学習のツールとして推進していきます。

エコチャレンジスクール
ISO14001（環境ISO）を模した学校教育プログラム。環境保全の身近な行動について目標を立て、実践と検証を行う。



エコチャレンジスクール認定式



こどもエコクラブの推進

- ・こどもエコクラブの活動を支援します。



こどもエコクラブ海洋環境保全教室

情報・資料の提供

- ・環境学習に役立つ啓発用パンフレットの作成と配布に努めます。

教材の充実

- ・環境関連図書や環境に関する教育資料、環境簡易測定資材等を充実させ、貸し出しを行います。

11-2-3 生涯学習等での環境学習の推進

生涯学習等における環境学習の充実

- ・家庭や地域社会での環境保全の意欲を高めるため、生涯学習、消費者教育などにおいて、環境学習を組み入れます。

大学連携による環境講座の開催

- ・市内の大学等と連携し、市民向けの環境講座を開催します。

11-2-4 職場における環境学習の推進

事業者向け研修会の開催

- ・事業者の理解を深め、職場における環境学習を促進する研修会を開催します。

職員への意識啓発の充実

- ・市役所のエコオフィス化や環境にやさしい行動の推進のために、職員への意識啓発を充実させます。